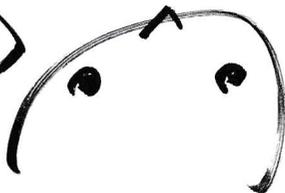


PC

→ キース
ボード



Word
print
out

+ ライブ
相談

+ グループ

(どうも
自由に)

レジュメ
第7回

PPT
第8回



第9回

金

5/28

6/4

6/9

6/11

水

6/2

6/9

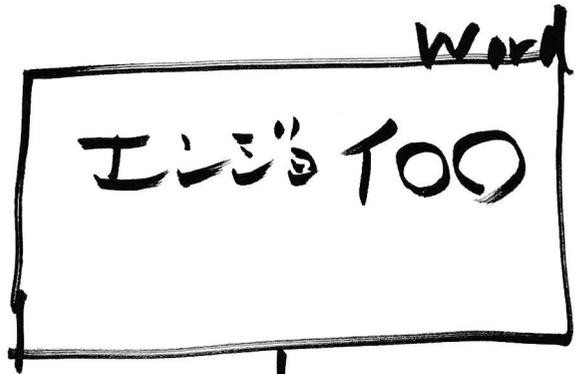
6/14

6/16

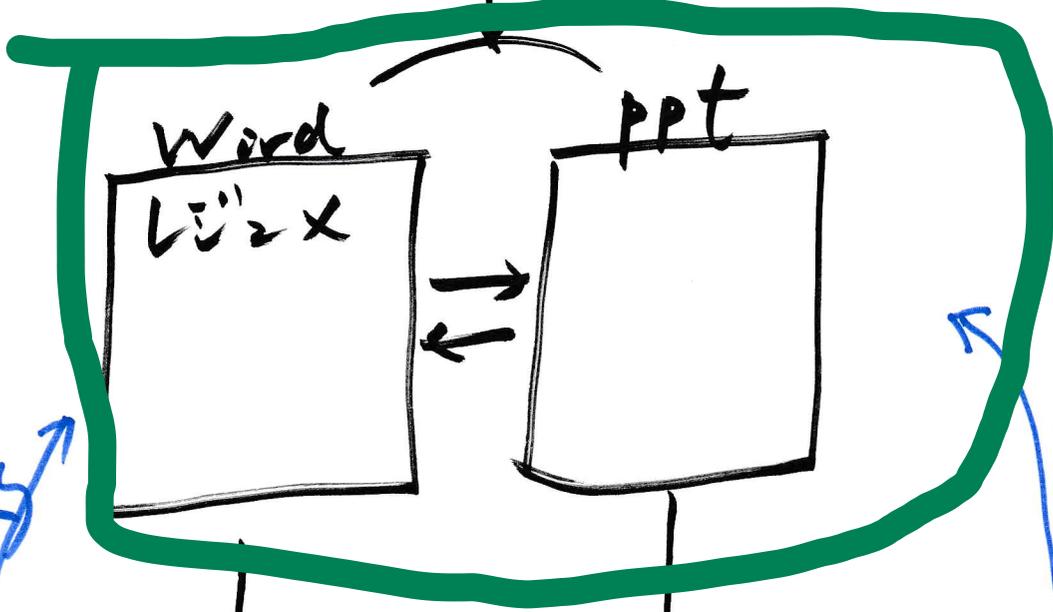


+ オンライン
相談

(メール→)
もくもく)



マカク箱
OneNote



要約

ト

文章化

音声化



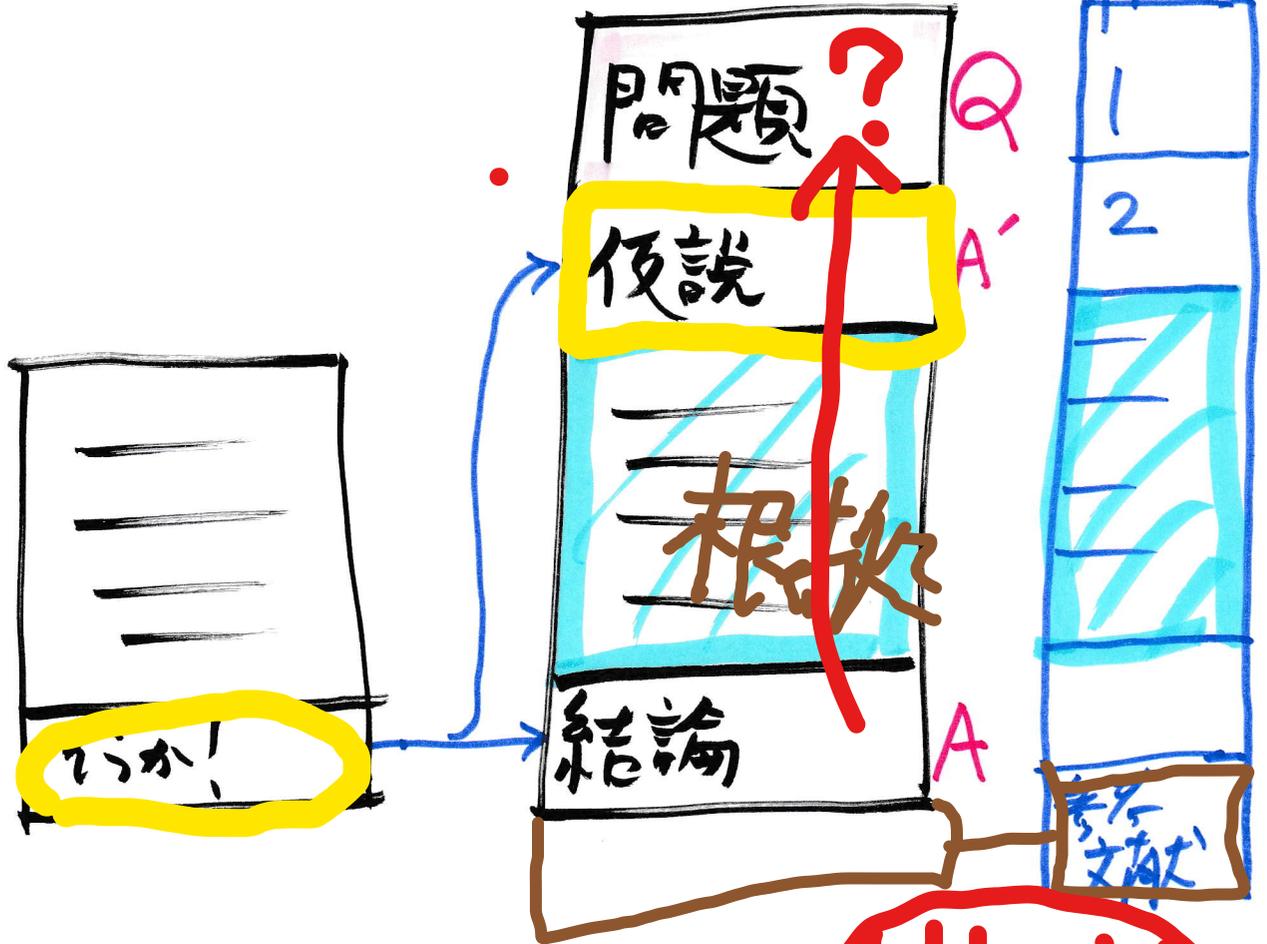
論文

講義

エンゾ 100

Word

ppt



問題

← 逆走する

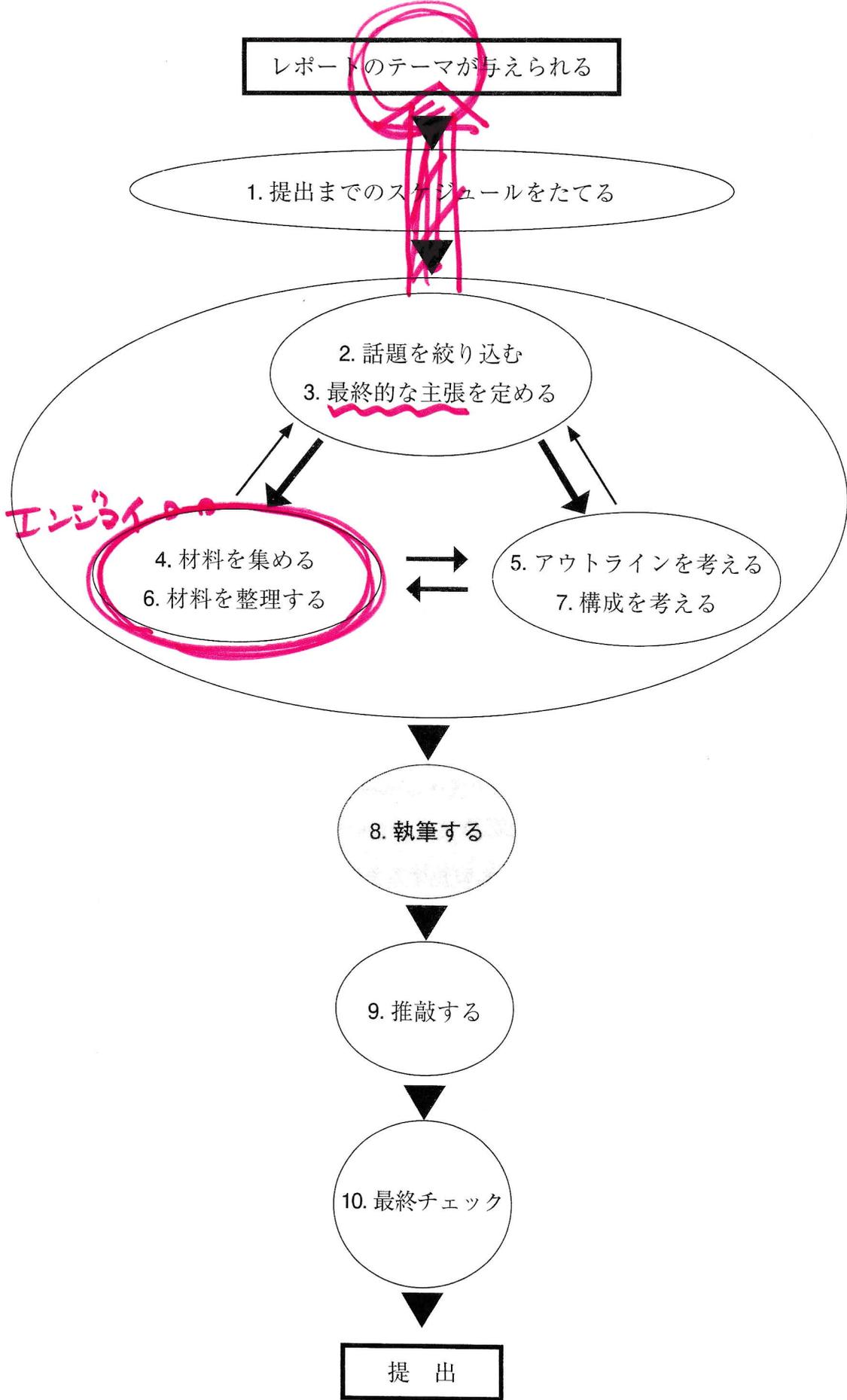
ほんとうに知りたい!!
専門書

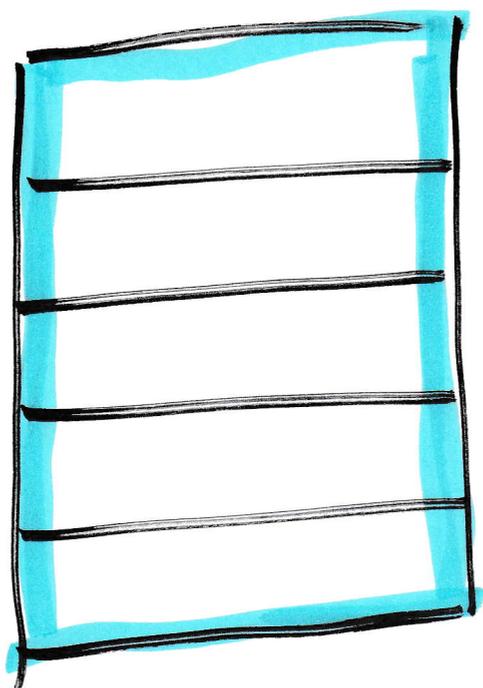
出典

伝えたい人がいる!!

この冊!!

◀◀ レポート提出までの流れ ▶▶





足す、へす

並べかえる

ポスト
ライン

接続詞

根拠

(脚注)

くのがベスト・タイミングです。

もちろん、知らないものをそのままにしておくのはいけません。大学では、高校までの国語の時間のよう、音読するという機会はほとんどありません。そのために、間違った読み方のままでいたり、語句の意味も何となくしかわからないことがあります。この状態では、本当に理解することはできません。また、語彙(ボキャブラリー)が少ないという人は、語彙を増やす努力をしていないことがほとんどです。レポートや論文を書くときの表現力を身につけるためにも、その都度、解決していきましょう。最初は面倒だと感じるかもしれませんが、このような日々の積み重ねをしながら、語彙を増やしていきましょう。

次に接続語です。接続語とは、文法的には「接続詞」や「接続助詞」と呼ばれるものです。ここでは、両者の区別をつけずに、接続語と読んでおきます。接続語には、文と文をくっつけるはたらきがあります。ただ、やみくもにくっつけるわけではなく、そのくっつけ方には決まりごとがあります。その決まりごとを知っておくと、前後の文どうしの関係がわかるようになります。

接続のタイプ	接続語の例
結果・帰結を表す	ので、から、だから、したがって、と、それで、すると
逆接・対照を表す	しかし、けれども、のに、ても、ところが
追加・累加を表す	たり、そして、また、なお、しかも
言い換え・例示を表す	つまり、すなわち、要するに、たとえば
理由・補足を表す	なぜなら、というのは、ただし、もっとも
話題の転換を表す	さて、ところで

接続語にはどのようなはたらきがあるかをあらかじめ頭の中に入れておいて、テキストを下読みしながら、その語が出てきたら印を付けておきます。Workshop (pp.29-31)の文章からいくつか例をあげておきましょう。

- 白人の占める割合が高く、次がアフリカ系アメリカンであったという構成が、変わりつつあります。たとえば【→例示】、メキシコ、プエルトリコ、キューバなどスペイン語を主言語とするヒスパニック人口の急激な増加です。
- 1980年に全人口の6.4%だったヒスパニックは、1996年には10.7%に増え、2010年の中ごろには13.8%まで達すると予測されています。また【→累加】、高い大学就学率と専門職への進出増を特徴とする中国、インド、ベトナムなどアジア系アメリカンの増加も顕著です。
- 第二には、インターマリッジ、つまり【→言い換え】異民族、異人種間の結婚の増加です。



